

# 第8回議会改革協議会 会議録

開催日：令和4年9月29日（木曜日）

開催場所：議事堂3階 第6委員会室 ⇒ 議事堂2階 21会議室（議題3から移動）

出席委員：田仲常郎委員（自民党・無所属の会：座長）、三原朝利委員（自民党・無所属の会）、  
本田忠弘委員（公明党）、渡辺修一委員（公明党）、  
白石一裕委員（ハートフル北九州）、森本由美委員（ハートフル北九州）、  
山内涼成委員（日本共産党）、出口成信委員（日本共産党）、

議題：

- 1 第7回議会改革協議会の協議結果について（確認）
- 2 多様な人材が活躍できる議会の環境づくりについて
- 3 議事堂のバリアフリー化の推進、設備の充実等について
- 4 第9回協議会について

---

主な意見など

## 1 第7回議会改革協議会の協議結果について（確認）

### 【座長】

- ・はじめに、議会改革協議会の構成員について、「所属議員が5名以上の会派の幹事長ほか1名ずつ」と規定していることから、先日の会派の異動に伴い、日野委員と戸町委員が退会され、構成員がこれまでの10名から8名となったことを報告する。

### 【事務局】

- ・資料1のとおり、第7回議会改革協議会の協議結果を取りまとめ、市議会ホームページに掲載することを報告。

### 【座長】

- ・ただいまの説明についてご確認いただけるか。（全委員了承）

## 2 多様な人材が活躍できる議会の環境づくりについて

### ハード・ソフト両面からの検討

### 【事務局】

- ・資料2により説明

### 【座長】

- ・今回のアンケート結果のうち、「改善を要する」との意見が多かった「本会議や委員会へのリモート参加」について、現在の地方自治法では本会議への出席は「議場にいること」と解釈されており、オンライン開催は認められていない。本会議のオンライン開催に向けた法改正等については、今後の国等での議論の動向を注視したい。

- ・委員会のオンライン開催については、今年3月の代表者会議で私から当協議会での協議結果を報告したが、その後、議会運営委員会において、委員会のオンライン開催に向けた条例改正等について現在協議を進めている状況。今後の進捗状況を見守りたい。
- ・その他にも、「改善を要する」との意見が多かった「託児所の設置」など、今回のアンケートで、将来あるべき姿について、広く議員の意見を聞いたことは非常に有意義であったと思う。
- ・議員研修の充実やSNSなど議会活動に関する情報発信の充実を求める意見も多くあった。これについては、政策立案支援事業の講演会などを通じて、議員の能力向上を図る取組みを充実させていくべきと考えるが、いかがか。(全委員了承)
- ・ハラスメントに関する質問では、今もジェンダーバイアスが根強く残っているとの意見などがあつた。ハラスメント防止に向けた取組として、最も多かった「議員に対するハラスメント研修の実施」について、実施を求めたいと思うが、いかがか。(全委員了承)
- ・その他、ハラスメント防止のための規定の整備等については、今後も全国市議会議長会や他政令指定都市議会の状況等を注視しながら情報収集に努めることとしたいと思うが、いかがか。(全委員了承)
- ・次回の協議会において、当協議事項のとりまとめ案を提示し、改めてご協議いただきたいと思う。(全委員了承)

### 【ハートフル北九州】

- ・アンケートの実施は設問も含めて非常に良かったと思う。
- ・回答していただけなかった方が非常に残念。これだけ改革しようという意識を持ってやっているのに、改革をしない、協力しないと、今後研修をやろうと言っても、自由参加だと多分そういう方々は来ない。そういう方々にこそ意識を持っていただくという努力がいるのと痛感した。そこが今後の課題だと思う。
- ・よく他の議会ではハラスメント問題で大騒ぎになったりしているが、議会の中でみんなで取り組むことによって問題をなくす方向に持って行きたいと思う。研修以外にも、多くの方が賛同いただける取組があればぜひ進めていきたい。

### 【日本共産党】

- ・議員研修の実施が決まったので、その研修の中で、他都市の先進事例等を紹介してほしい。それによって、他の改善に向けた取組に繋がるのではないかと思います。

## **3 議事堂のバリアフリー化の推進、設備の充実等について**

### **(1) バリアフリー化の推進、(2) 設備の充実**

#### **【座長】**

- ・今回は、AI音声認識システムのデモンストレーションをしたい。インターネット環境の都合上、デモンストレーションは21会議室で行う。

#### **第6委員会室⇒21会議室へ移動**

#### **【事務局】**

- ・「デモンストレーションの概要」説明

**[デモンストレーション実施（過去の議会の読み文を朗読し、文字化される表示画面をスクリーンにて確認）]**

※以下、主な質問等

**【公明党】**

- ・滑舌の悪い人や方言の変換はどうか。

**【業者担当者】**

- ・あくまでも音声文字化するので、方言は厳しいものがある。滑舌が悪いのも難しく、雑音にも対応していない。使用頻度の高い文字は文字登録をしておけば繁栄される。

**【ハートフル北九州】**

- ・議会は発言時間が決まっているので、答弁の終盤は早口になったりするがどうか。
- ・今までのVTRなど録画放送を認識して精度を上げられるのではないか。
- ・単語登録をしなければ議会用語がたくさんある。
- ・聴覚障害のある方にとっては、文字化のタイムラグは多少仕方がないにしても、正確に文字が反映できるかどうかが一番大切ではないか。
- ・見ていただく人には誤変換もあるという前提で見てもらう必要がある。

**【事務局】**

- ・導入前にはそういった精度を上げるための対応等を行う必要があると思っている。

**【業者担当者】**

- ・精度に関しては、今回は何も文字登録や語彙登録をしていない状況。
- ・誤変換はリアルタイムで書記が打ち直すことも可能。
- ・テキスト入力をすれば、今何について話しているかを表示することも可能。

**【座長】**

- ・将来的には、傍聴席にモニターを設置して、本会議での発言をリアルタイムに文字表示することで、聴覚障害のある方も安心して議会傍聴ができるように設備を整えていくことを提案したいと思いますが、いかがでしょうか。（全委員了承）
- ・その方向で整理したい。

**4 第9回協議会について**

**【座長】**

- ・第9回協議会の開催日程については、事務局に調整させ、決まり次第連絡する。